



風薫る新緑のさわやかな季節となりました。

5月5日は端午の節句(こどもの日)ですが、なぜ端午の節句には、5月人形(鎧兜)を飾るのと一緒に、鯉のぼりを飾る風習ができたのかご存知でしょうか？

これは、もともと中国から伝来したと言われていています。厄除けの一種で、鯉のぼりを出して、粽を食べることで厄除けをしたと言われていています。

鯉は、清流はもちろん池や沼地でも生息できる非常に生命力の強い魚で、その鯉が急流を上がり、竜門という滝を上ると竜になって、天へのぼるという中国の伝説(登竜門という言葉の由来)にちなんでいるようで、どんな環境にも耐え、立派な人になるようにとの子供の立身出世を願う飾りなのだそうです。

また、男の子が生まれた時、天の神様に「どうかわが子を見守って下さい」と知らせる目印にするために鯉のぼりを立てたという説もあります。



鈴まる様から新しい俳句を頂きました

いつも素敵な俳句ありがとうございます！

鈴まる様は、他利用者様やスタッフをいつも気遣って下さるとても優しい方です。

午前中は、元気に笑顔でリハビリをこなされ、午後はバレーボールでいつもみんなを盛り上げて下さいます。これからも鈴まる様のご活躍をスタッフ一同、楽しみにしております。

青葉風
屋根かけめぐる
かけ声の
鈴まる



森さんのパソコン教室 ～4月号からの続き～

目が覚めた後、なぜ病院のベットで寝ているか、頭に巻かれた包帯のこともわからなかった。お見舞いに来てくれた人の事はわかったが、何を話してるかあやふやでわからなかった。自分から話をする事も出来なかった。

意識が戻ってICUから出て一般病棟に来てからはお見舞いに来てくれる人が絶えずにいた。

しかし僕が話をする事が出来ないのとお互いにニコッと笑顔をかわすだけで後は沈黙が続き、気まずい雰囲気が流れていた。



たじはや営業所 〒583-0875 羽曳野市樫山 45-1

【 TEL 072-931-2771 FAX 072-931-2772 】

● デイセンター リハビリプラザ羽曳野

相談窓口：阪上

